

## 平成26年度第5回花巻市行政評価委員会会議録（しごと部会）

### 1 開催日時

平成26年8月19日（火） 午前9時30分～午前11時

### 2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園2階第2学習室

### 3 出席者

委員 5名

影山部会長、小山田委員、瀬川委員、佐藤委員、折居委員  
事務局、施策主管課

### 4 議題及び報告事項

#### ◆施策：企業誘致の推進

- ・工業団地が不足しているとのことだが、今後の見込みはどのようになっているか。
- ・場所はどこか。
- ・毎年5件の目標は大きすぎないか。
- ・工業用水の整備についてはいかがか。
- ・企業誘致における優遇措置は他市と比べてどうか。
- ・立地企業懇談会は北海道では行わないのか。
- ・どのような企業を誘致するというターゲットはあるか。
- ・東京事務所廃止の影響はあるか。
- ・新しいインセンティブとは何か。
- ・花巻市に立地するメリットは何か。
- ・今年度からリニューアルしたHPの影響はいかがか。

#### ◇成果指標について

- ・目標値はもっと高く設定してもよいのではないか。それに伴い、活動費を増額してもよいのではないか。
- ・新規雇用創出数、賃貸工場入居率、操業継続社数についての指標も加えてはどうか。
- ・より詳細な分析として、上に指摘した指標の推移の分析、撤退企業（撤退要因）の分析をする必要がある。

◇事務事業について

- ・訪問企業数のみではなく、訪問企業の業種別内訳を明記してほしい。
- ・市のHP上でのPRは問題ないが、もう少し工夫（動画の利用）があってもよい。
- ・誘致活動費の増額、市長によるトップセールス
- ・近隣他市の誘致事業との比較、分析を行って、花巻市のその長所・短所を明らかにする事業

◇施策の総合的な評価

- ・課題と方向性としてインセンティブと工業団地の整備の検討が記述されているが、それぞれの具体的な内容があれば、明確に記述してほしい。

◇記載内容について

- ・「多様な分野の多くの企業が立地しています」という「施策の目指す姿」が抽象的すぎるので、マネジメントシートではより具体的な記述（ヒアリングの際に述べられていたように、たとえば、自動車関連企業を誘致するとかの業種を絞って）があってもよいのではないか。

## 平成26年度第5回花巻市行政評価委員会会議録（暮らし部会）

### 1 開催日時

平成26年8月19日（火） 午前9時30分～午前11時20分

### 2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園3階第3学習室

### 3 出席者

委員 5名

鈴木部会長、伊藤委員、佐藤委員、戸来委員、高橋委員

事務局、施策主管課

### 4 議題及び報告事項

#### ◆施策：高齢者福祉の充実

- ・事務事業一覧の実績数値について、妥当かどうか判断しにくいので対象者数の分母を記載してほしい。
- ・課題の中に、在宅療養を入れてほしい。
- ・元気に生活している人が対象となっている施策が多いように思える。逆の人への施策も必要ではないか。

#### ◇事務事業：高齢者在宅支援事業

- ・事業内容に対する質疑

#### ◇事務事業：介護予防対策事業

- ・高齢者の割合として、20%が寝たきりなどの要介護者、20%が元気に生活している人、残りの60%がどちらでもない人となっていると考えているが、この60%を占めている人たちをいかにして元気に生活している方へ持っていけるかが重要である。
- ・介護予防には食事も必要となっており、一人暮らし老人へのサポートも必要となってくる。
- ・認知症の対応に関する事業として、独立した事業を起し明確にした方がいいのではないか。事務事業一覧から見えてこない。

#### ◇事務事業：高齢福祉サービス提供事業

- ・病気で痴呆とアルツハイマーとではサービスに差が出てくると思うので、細か

く見てみてはどうか。

◇事務事業：高齢者福祉サービス基盤整備事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：交流・生きがいづくり支援事業

- ・高齢者でも後期高齢者では、生きがいが違ってくると思う。成果指標を65歳から74歳までと、75歳以上に分けた方がよいのではないか。

◇事務事業：社会参加活動推進事業

- ・事業内容に対する質疑

◇事務事業：老人措置事業

- ・事業内容に対する質疑

## 平成26年度第5回花巻市行政評価委員会会議録（人づくり・地域づくり部会）

### 1 開催日時

平成26年8月19日（火） 午後1時30分～午後3時30分

### 2 開催場所

花巻市花城町1番47号 まなび学園2階第2学習室

### 3 出席者

委員 6名

堀籠部会長、中村委員、久保田委員、尾美委員、福盛田委員、佐々木委員  
事務局、施策主管課長

### 4 議題及び報告事項

#### ◆施策：子育て支援の充実

#### ◇成果指標について

- ・児童虐待については、「施策の基本状況」の「現状と課題」にも記載があり、全国的に問題となっている。成果指標にも現れるべき課題ではないか。
- ・保育所の待機児童数については、実績から見て目標値の設定に無理があるのではないか。また、施策評価シートから背景などを読み取れるようにすべきではないか。
- ・理想はゼロだが、現実是不可能であると理解する。ただ、不可能であっても何人ならよいという目標ともいえない難しい指標である。
- ・指標として出さない、もしくは、具体的な数（人）はこの指標だけなので、ほかの指標と同じように待機児童割合（%）などとしてはどうか。

#### ◇施策を構成する事務事業について

- ・児童虐待については、関係機関の連携や地域の見守りだけでは未然防止という意味では不足するのではないか。
- ・事務事業を見ても、虐待防止に直接結びつく事業は子育て家庭訪問のみに見える。ほかの切り口もあるのではないか。
- ・児童虐待がどうして起きるのか、政策の目指す姿「子育てに喜びを感じ、安心して健やかな成長を育んでいます」であるはずが「苦痛」になってしまうのはどうしてか、どうすれば喜びにつながるのかを追求しないと、予算はどんどん膨らむ。ニーズに対応していくだけではなく、効率的に実施していかないといけない。
- ・保育士不足を解消するための事業を加えるべきである。
- ・小規模保育や事業所内保育所の利用など今後の国の制度の変更を活用した事業を

盛り込むべきである。

- ・小規模保育など今後の制度変更に対応し、保育士の資格を持たなくても保育に携わることができるのであれば、そこに地域や高齢者の活躍の場を設けてはどうか。
- ・市民協働参画による事業とすることで、市はほかの事業にお金や時間をかけることができる。
- ・児童虐待については、親への対策が重要である。親の孤立の解消や地域との接点を作るために、前々回施策「家庭の教育力向上」の際に話題にのぼった三世代交流が有効。施策間、事業間での連携も必要となる。

◇施策の総合的な評価について

- ・児童虐待について掘り下げるべきである。

◇事務事業

- ・各事業内容に対する質疑

◇その他

- ・「施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績」に記載の取り組みの柱と「施策を構成する事務事業一覧」に記載の各事業とのつながりがわかりづらいので、各事業の順序を変えるなどして、見やすく改良したほうがよい。